

報道関係者 各位

令和2年10月30日



一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会

第5回「介護福祉のみらい」作文コンクール 最優秀賞は小川愛美さん（兵庫県・高校2年）が受賞

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会（代表理事＝多田 宏）は、このほど、第5回「介護福祉のみらい」作文コンクールを実施いたしました。将来を担う中学生、高校生に、介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する機会をもってもらうことを目的に、令和2年6月1日から8月31日にかけて作品を募集しました。

全国より応募総数 551 編の作品が寄せられ、黒澤貞夫審査委員長（一般社団法人介護福祉指導教育推進機構代表理事）のもと、厳正な審査を行った結果、別紙のとおり入選作品が選出されましたので発表いたします。

受賞者には本会より賞状・副賞を贈呈いたします。

黒澤貞夫審査委員長のことば

応募作のどれもが素晴らしい作品で、やむを得ず順位はつけさせていただきましたが、いずれも私たちにとって共感を覚えるものであり、胸を打つものでした。実習の経験や家族の介護のこと、今の世の中を見て感じたことなどテーマはさまざまですが、正しいか間違っているかではなく、今の自分が感じたその想いを文章にするということは若い皆さんにとって素晴らしい学習になると思いますし、将来の自分にとって代えがたい貴重な財産を得ることになったのではないのでしょうか。

人間は誰でも、いつの時代でも老いていきます。病を持ちます。そして心身の障害を持つことになります。その中で人間がより幸せに、より豊かに、より自分らしく生きるためには、どうしても日常生活を支える人が必要になってきます。これはわが国の問題であると同時に人類の抱える問題でもあり、世界規模で考えるべき問題でもあります。そういう意味では、皆さんが目指す仕事は人類の使命でもあり、人類が究極の幸せを求めるための一つの支えとなる仕事であるとも言えるでしょう。

今回の作品を通して、介護という仕事に対して誇りと夢を持って学び続けている方がたくさんいることがわかり、大変うれしく感じています。これからの次の世代は皆さんにゆだねることになりますが、この経験を通して、さらに学びを進め、立派な職業人となって世の中のために尽くしていただきたいと思います。応募いただきました皆さん、大変ありがとうございました。

【第5回「介護福祉のみらい」作文コンクール 受賞者】

○最優秀賞 作品名「心」

おがわ あいみ
小川 愛美さん（兵庫県立日高高等学校 福祉科2年）

○優秀賞 作品名「楽しい人生だっと思ってもらえる介護を目指して」

ささき あいね
佐々木 愛音さん（栃木県立真岡北陵高等学校 介護福祉科2年）

○優秀賞 作品名「経験を活かして」

たき みらい
瀧 未来さん（兵庫県立日高高等学校 福祉科2年）

○佳作 作品名「温かい心の分かち合い」

とおやま ももか
遠山 萌々華さん（岐阜県立大垣桜高等学校 福祉科3年）

○佳作 作品名「福祉とは」

てづか あかね
手塚 茜さん（兵庫県立日高高等学校 福祉科3年）

以上

〈本件に関するお問い合わせ先〉

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会

事務局（担当：星野・山口）

TEL：03-3553-2896 FAX：03-3553-2897 Mail:info@nkfk.jp